

岐阜県の概要

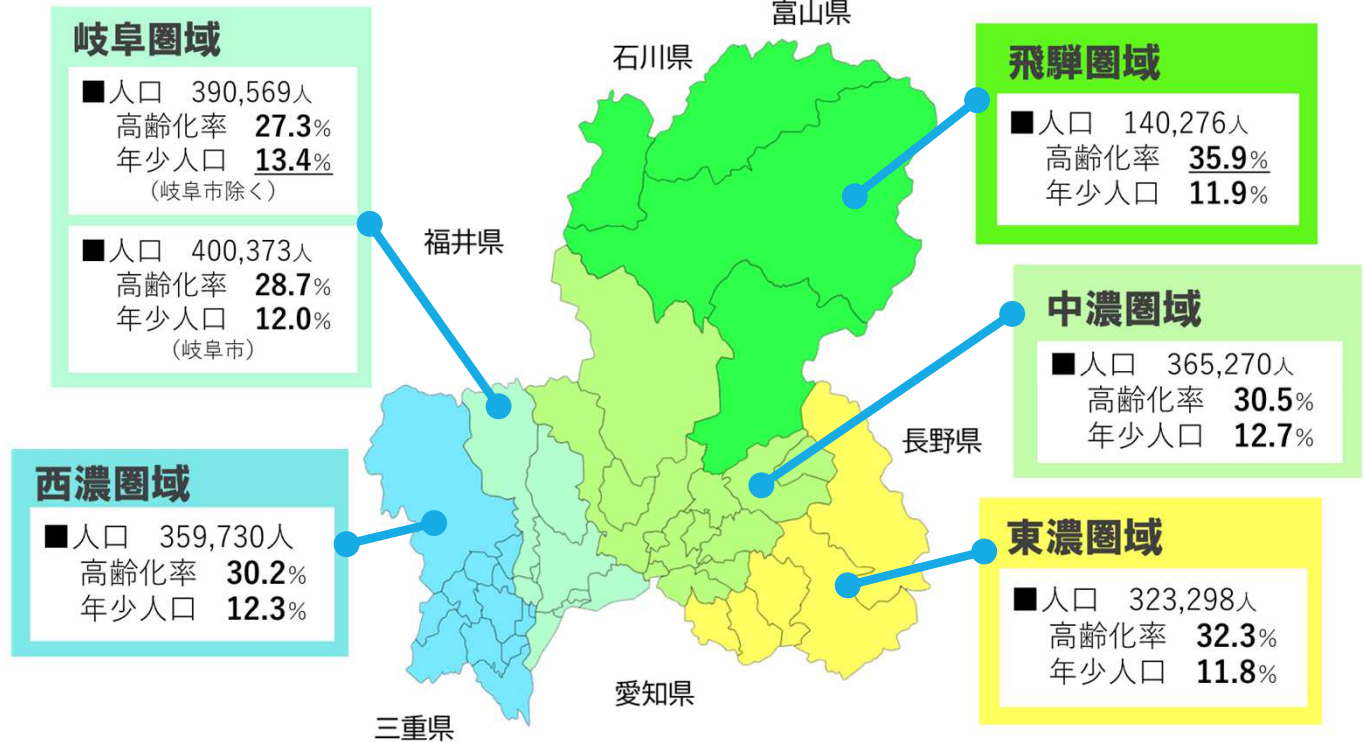
地域の状況

人口 1,979,516人
高齢化率 30.1%

(令和3年4月1日現在)

	透析有の医療費
国民健康保険	89億円
後期高齢者医療広域連合	104億円

出典:KDBシステム(R1年度)



CKD対策事業の背景

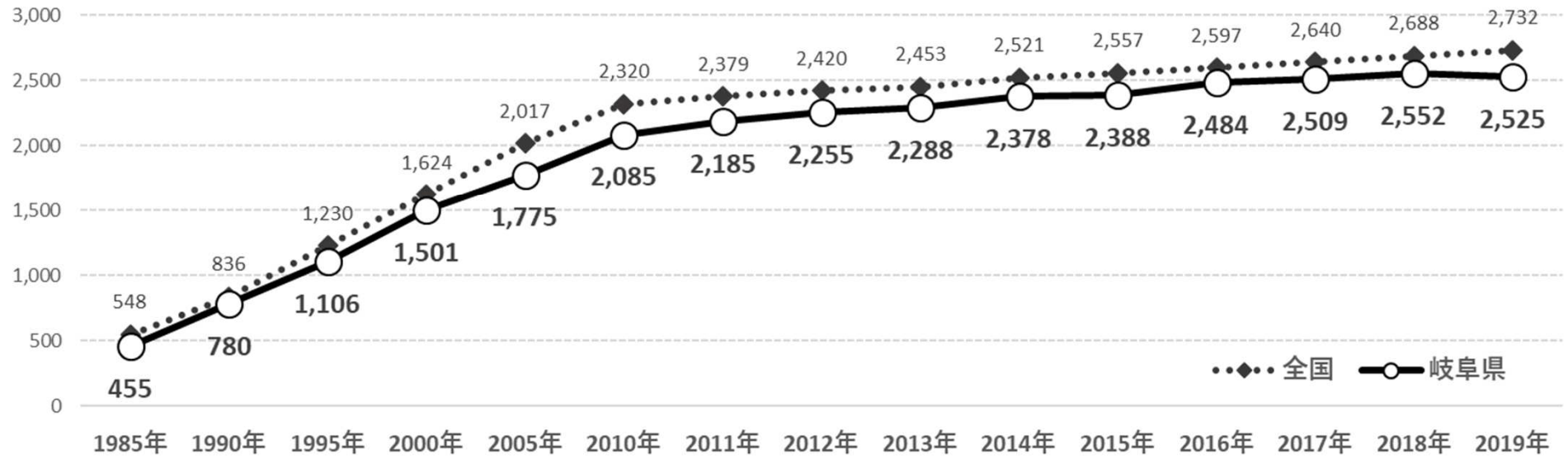
- 慢性透析患者数は年々微増傾向にあり、新規透析導入も横ばいに推移している。
- 透析医療費を、国民健康保険と後期高齢者医療後期連合を比較すると1.5倍の差がある。
- 健康寿命の延伸及び社会保障費の安定のためには腎臓病対策は重要である。

CKD対策事業の目標

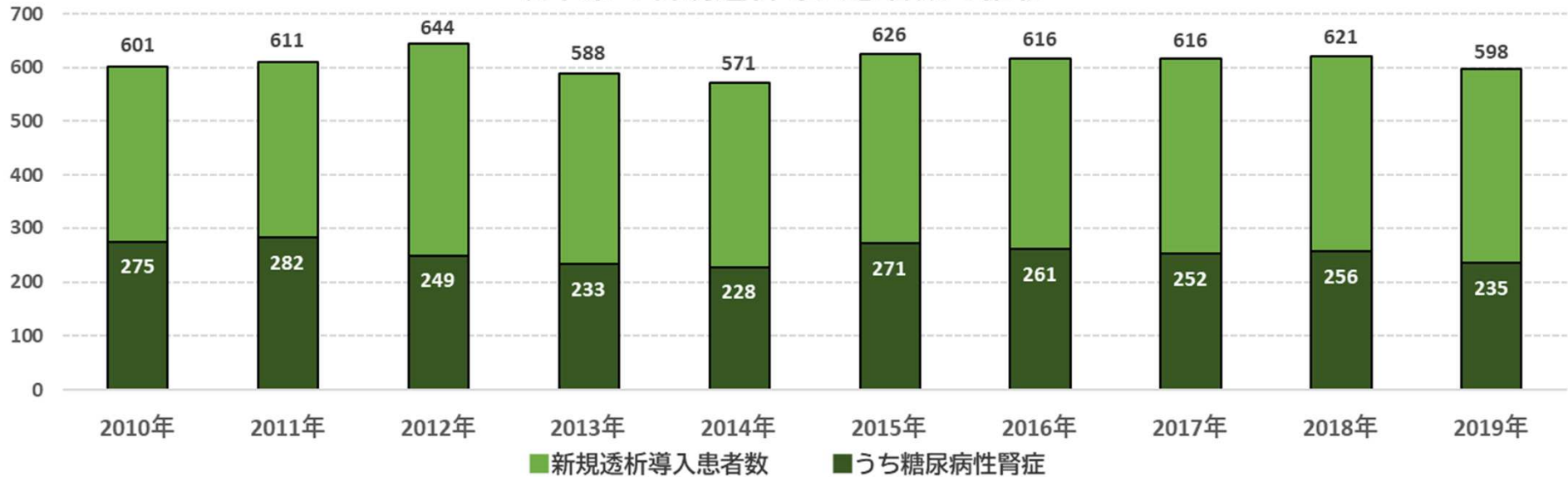
2028年までに年間新規透析導入患者数を500人以下に減少させる

透析患者数の推移

慢性透析患者数の年次推移（人口10万対）



岐阜県の新規透析導入患者数の推移



CKD対策に係る会議体について

慢性腎臓病対策推進協議会の目的

自覚症状に乏しい慢性腎臓病(CKD)を早期に発見・診断し、良質で適切な治療を早期から実施・継続することにより、CKD重症化予防を徹底するとともに、CKD患者(透析患者及び腎移植患者を含む)のQOLの維持向上を図る。

《 構成員 》

- 腎臓専門医
- 糖尿病専門医
- 県医師会代表理事
- 薬剤師会代表理事
- 透析看護専門看護師
- 医療保険者代表
- 市町村保健師・管理栄養士代表
- 保健所代表

CKD医療連携ワーキンググループの目的

健診で発見されたCKD患者に早期に介入し、治療につなげるとともに、継続した医療を提供できる体制を維持できるようにするため、医療関係者による岐阜県CKD医療連携ワーキンググループを設置し、岐阜県の実情に応じたCKDに係る医療連携体制を構築する。

《 構成員 》

- 腎臓専門医
- 糖尿病専門医
- 小児科学会専門医
- 圏域代表医師
- 県医師会
- 県

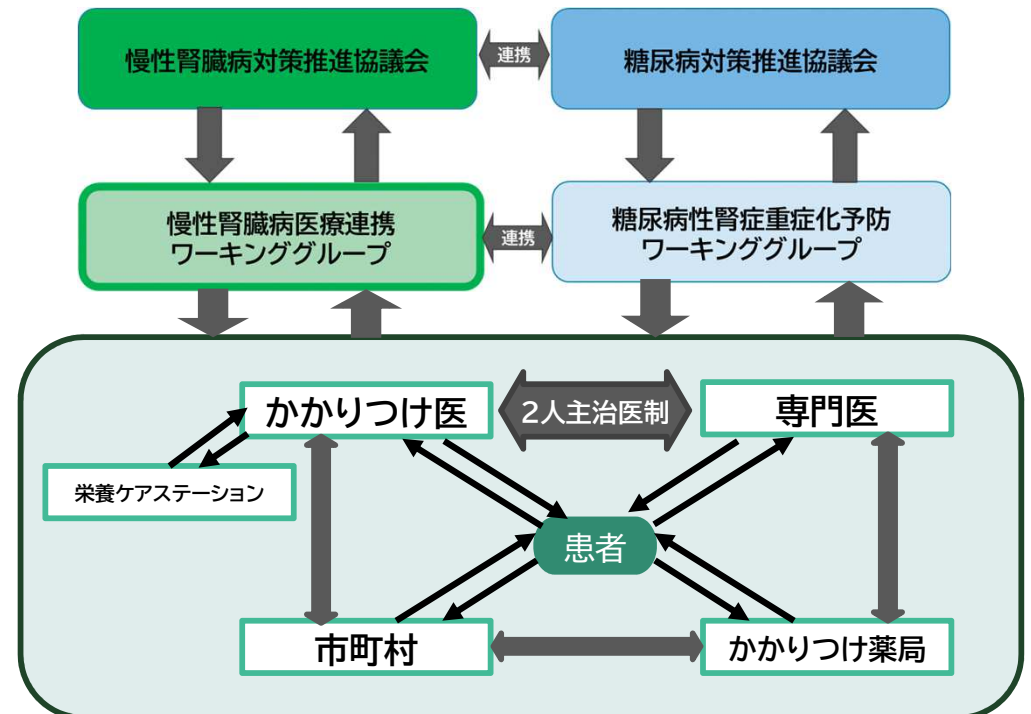
議論している内容

【慢性腎臓病対策推進協議会】

- 年3回開催
- 普及啓発、人材育成、医療連携の取組の推進に向けた総合的な協議

【CKD医療連携ワーキンググループ】

- 年2回開催、WG打合せ1回開催
- 検討内容
 - ①かかりつけ医と腎専門医の連携の在り方の検討
 - ・診療情報提供書、マニュアルの作成、GFRグラフ(糖尿病連携手帳やお薬手帳へ挟み込む形式)の作成
 - ②特定健診を活用した連携の在り方の検討
 - ・糖尿病性腎症重症化予防プログラムのスキームとの連動や対象者の抽出基準等の検討



岐阜県におけるCKD対策に係る取組

普及啓発

- 県公式Twitter及びInstagramでの情報発信
- 世界腎臓病デーに合わせた新聞での啓発
- 腎臓病の原因である『高血圧』の予防を普及するための啓発媒体の作成
(保健所及び市町村を通じた県民への啓発、健康経営宣言企業への配布)

人材育成

- 医師・コメディカルを対象とした研修会の開催(オンライン開催)
講師:琉球大学医学部附属病院血液浄化療法部 部長 古波蔵 健太郎先生
- *糖尿病専門医の声掛けによる糖尿病と腎臓病の架け橋プロジェクトの発足
- *糖尿病対策推進協議会主催の講演会でCKD対策との連携を周知

病診連携

- CKD医療連携ワーキンググループでの、かかりつけ医と腎臓診療医との連携ツールの検討及び作成
→R1年度は、県対策推進協議会の中で医療連携の検討を進めたが、より具体的な検討をする場として県CKD医療連携ワーキンググループ(県医師会委託)を設置し、検討を進めた。
- 岐阜県CKD地域連携説明会の開催
(対象)県内の腎臓診療医
(内容)腎対策の本格実施に向け、かかりつけ医との連携や健診からの早期発見など事業の必要性の共通理解を図り、地域の特性に応じた腎対策の牽引を依頼した。

健診の活用

- 特定健診を軸とした連携基準の明確化
- 糖尿病性腎症重症化予防プログラムとの連動についての協議

○印は、慢性腎臓病対策推進協議会・CKD医療連携WGによる事業
*印は、関係団体主催の事業との連携

市町村におけるCKD対策の取組

岐阜県市町村数:42市町村

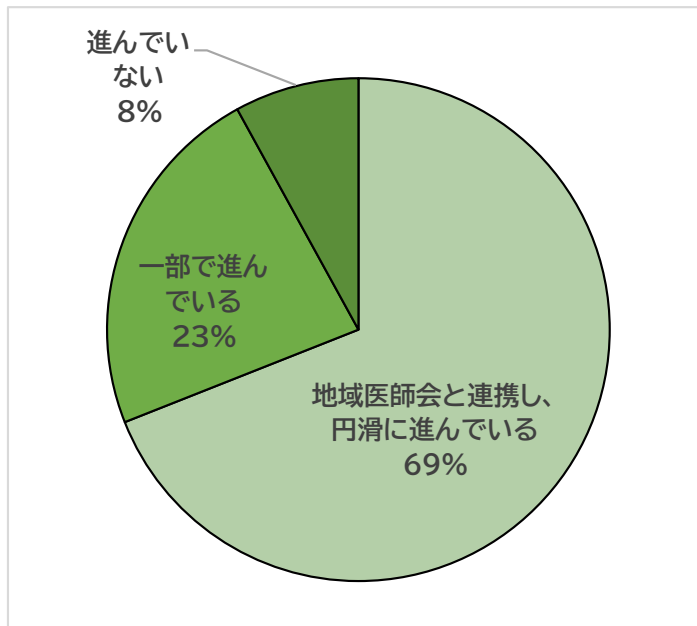
特定健診におけるCKD対策

特定健診におけるeGFRの算出 **100%**

糖尿病性腎症重症化予防プログラムの推進によるCKD対策

糖尿病性腎症重症化予防の取組 **100%**

各市町村の糖尿病性腎症重症化予防プログラムの取組
～地域医師会との連携状況～



(R3.2.2調査)

地域特性に応じたCKD対策

県内市町村では、住民を対象とした講演会や広報等による啓発を実施しています。

〈事例紹介〉

飛騨市『減塩チャレンジプロジェクト』

- ・飛騨市は寒冷地域であり、伝統的な塩蔵文化が根付く地域。
- ・脳血管疾患や虚血性心疾患、腎不全の医療費は増加傾向。

住民の腎・脳・心を守るために
『減塩』をキーワードに地域一丸となった取組みを実施

ハイリスクアプローチ

- ・糖尿病重症化予防プログラムの実施
- ・個別の重症化予防指導

ポピュレーションアプローチ

個人への働きかけ

- ・次世代生活習慣病予防事業
- ・減塩商品や減塩メニューの普及
- ・健康ポイント事業との連携
- ・市民講演会の開催

環境の整備

- ・地域の小売店・酒屋、総菜屋の協力
- ・スマートミール参加店の開拓

飛騨市の腎臓を守る会

(医師会・歯科医師会・薬剤師会・養護教諭・保育士・保健所)

今後に向けて

